

「全国AED設置情報データベース/日本AEDマップ」

開発業務委託

プロポーザル募集要領

2025年7月

公益財団法人日本AED財団

I. はじめに

背景

院外心停止傷病者の救命率向上には、自動体外式除細動器（以下、AED）を心肺蘇生の現場へ迅速に届けることが不可欠であることは、今日では衆知である。これを実現するには、「必ずそこにあり作動する AED」の設置情報を明示する AED マップと、これを支える AED 設置情報データベースが常に最新情報でなければならない。

現在、AED 設置情報を全国規模で掲載している AED マップとして（設立順）「財団全国 AED マップ」（日本救急医療財団運営）、「日本全国 AED マップ」（株アルム運営）、「AED N@VI」（日本 AED 財団運営）がある。また、自治体等が運営する地域別の AED マップも存在する。しかし、これら何れの AED マップも、医療機関外に既に設置されている全国の約 70 万台ばかりか、毎年、新たに販売される約 10 万台についても十分には把握できていないと考えている。このため市民には活用しづらいとの意見が多く、運営的にも非効率であることから改善策として一元化することが望まれてきた。

目的

本業務の目的は、我が国の AED 設置情報を、「全国 AED 設置情報データベース（以下、全国 AED 設置情報 DB）」に一元化し、これらデータを地図上に出力して、誰もが迅速かつ正確にアクセス可能な「日本 A E D マップ」を創設し、永続的に運用する体制を構築することである。

II. 業務内容

本業務は、全国の AED 設置情報を統合的に管理・提供する「全国 AED 設置情報 DB」および、集約されたデータを地図上に出力する「日本 AED マップ」を開発することである。各システムの主な機能は以下のとおりとする（図）。

A.全国 AED 設置情報 DB

1. AED 設置情報の登録
2. 情報の更新・確認・選別
3. 管理機能
4. その他

B.日本 AED マップ

1. AED 設置情報の地図上への表示
2. 指定条件による検索（最寄り AED の検索など）
3. 設置情報の精度に応じたフィルタ

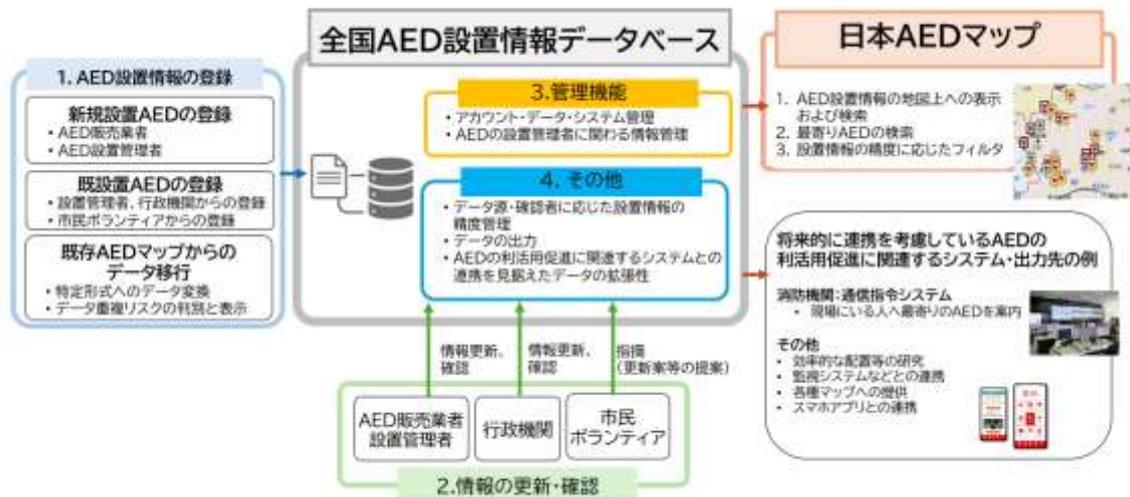


図:全国AED設置情報データベース/日本AEDマップ 開発機能概念図

* 出典:令和6年度厚生労働科学研究費補助金(循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業)

『AEDの適切な利用環境の構築に向けた研究』資料別添2より引用(一部改変)

III. 予算規模

本業務の想定予算は40,000,000円以内(税込)とする。なお、応募者は見積内訳を明示のうえ、実行可能かつ費用対効果に優れた提案を行うこと。

※予算は目安であり、提案内容および審査結果により変動する可能性がある。

IV. 応募方法

受託を希望するものは、下記に示す提案書をⅧのスケジュールに示す期日までに当財団事務局にて提出すること。なお、説明も随時、事務局で受ける。

V. 提案書に含めるべき要素

応募者は、提案書に以下の内容を含めること。

1. 実装する機能

A.全国 AED 設置情報 DB

1) AED 設置情報の登録

①新規設置 AED の登録: AED 販売時に販売業者が保持するデータベースからの抽出

- 販売業者(8社)のデータベースを特定様式(別添資料1*)のCSVへ変換する機能

- 販売業者(現在は1社)のデータベースをAPIによるデータ抽出機能

※年間10万~20万台の対応を想定

②設置管理者による情報登録

2) 既設置 AED の登録

- ・設置管理者、行政機関からの登録
- ・市民ボランティア等からの登録

3) 既存 AED マップからのデータ移行

- ・特定様式(別送資料1*)へのデータ変換処理

1*) 資料を別送致しますので、下記、XI.問い合わせ先までご連絡をお願い致します。

- ・データ重複リスクの判別と表示

※「財団全国 AED マップ」約 35 万件、「日本全国 AED マップ」約 30 万件
「AED N@VI」約 8 万件のデータ移行も業務範囲に含む。

4) 情報の更新・確認

- ・AED 販売業者、設置管理者による情報更新、確認
- ・行政機関による情報更新、確認
- ・市民ボランティア等による AED 設置情報の確認
(間違いの指摘や情報の追加を提案する、等)

5) 管理機能

- ・アカウント管理、データ管理、システム管理、等
- ・AED の設置管理者に関わる情報の管理

6) その他

- ・データ源・確認者に応じた設置情報の精度管理
- ・データの出力
- ・AED の利活用促進に関連するシステムとの連携を見据えたデータの拡張性

B.日本 AED マップ

- ・AED 設置情報の地図上への表示および検索
- ・最寄り AED の検索
- ・設置情報の精度に応じたフィルタ

2.情報セキュリティに関する資格・方針

- ①セキュリティ設計書
- ②プライバシーポリシー案
- ③公的資格等(プライバシーマークや ISO270001 等)

3.運用・保守体制の詳細

- ①システム運用・保守体制の説明書(障害対応、問い合わせ対応、アップデート計画等)

4.業務遂行体制の詳細

- ①企業概要
- ②担当部署概要（プロジェクトマネージャー、開発担当者等の役割分担）
- ③体制図および主担当者の略歴

5.開発・運用実績（企業・担当者の業務実績）

- ①類似システムの開発および運用の実績
- ②システム統合や地図機能に関する実績

6.プロトタイプのテスト計画

7.開発および運用スケジュール案

設計、開発、試験、リリースまでの全体工程と期間について、以下の内容を踏まえて作成すること

- ①実装する機能（案）の作成
- ②本運用に向けて検討すべき事項の整理
 - 開発計画・ロードマップの作成
 - 運用体制（案）の作成

8.見積金額および内訳

- ①構築費用
- ②価格の算定根拠
- ③ランニングコスト

VI. 成果物の納品

委託先として選定された場合、テスト版納品（12月中旬）に当たって、当該業務内容に沿って以下に示す成果物を準備し納品すること。上記提案書についても、本件を踏まえて作成すること。

- ①システム設計書類（ドラフト版）
- ②動作可能な開発環境版（プロトタイプ版）システム環境
- ③ソースコード（ドラフト版）
- ④簡易操作マニュアル（PDF形式および元データ）（ドラフト版）
- ⑤全国 AED 設置情報 DB 及び日本 AED マップがクラウド上で動作可能な開発環境版（プロトタイプ版）

なお、これら納品物が契約内容に適合しない場合の措置については、別途通知する。

VII. 評価・選定基準

提案書の審査にあたっては、以下の観点に基づき総合的に評価・選定を行う。

最高得点は、100点とする。また、最高得点が同一2社以上の場合は、後日再提案の仕様をこちらが開示し、提出をして頂く。

1. 提案内容の充実度（45点）

- ・要件を的確に理解し、実現可能かつ効果的なアプローチを提案しているか
- ・システム構成、機能、セキュリティ等に対する具体性と合理性
- ・他 AED の利活用促進に関連するシステムとの連携を見据えた拡張性
- ・システム完成後の運用コスト

2. 業務遂行体制およびスキル（30点）

- ・プロジェクト体制が明確であり、各メンバーのスキルが適切であるか
- ・過去の経験・スキルセットと本業務との関連性

3. 実績および信頼性（20点）

- ・過去の同種業務における開発・保守実績
- ・納期順守、障害対応履歴など信頼に資する情報

4. その他（5点）

- ・質疑対応の誠実さ、独自性ある提案内容等

VIII. 契約スケジュール（予定）

| 項目 | 日程 |
|-----------|-----------------------|
| 公募開始日 | 2025年7月22日 |
| 質疑応答期間 | 公募開始日から2025年7月31日 |
| 提案書作成期限 | 2025年8月12日 |
| 審査期間 | 2025年8月12日~2025年8月22日 |
| 結果通知予定日 | 2025年8月25日 |
| 契約締結予定日 | 2025年9月9日 |
| 業務開始予定日 | 2025年9月16日 |
| テスト版納品時期 | 2025年12月中旬 |
| 操作説明会予定時期 | 2026年2月 |
| 納品予定時期 | 2026年3月中旬 |

※上記スケジュールは調整の可能性があります、確定日程は別途通知する。期間中適宜 AED 財団との打ち合わせを実施しながら進めること。

IX. 権利の帰属

本事業により作成された成果物（ソースコード・ドキュメント・データ・知財等）および関連する知的財産権は、受託者が従前より権利を保有する部分を除き、日本 AED 財団に帰属させること。

X. その他

- 業務内容の第三者委託は許容するが、事前に日本 AED 財団に届け出て許可を得ること。
- 本事業の担当者を配置し、進捗状況等の結果について、日本 AED 財団へ適宜報告を行うこと。

XI. 本件に関する問い合わせ先

(公財) 日本 AED 財団 事務局 担当：吉田・小川

・ TEL：03-3253-2111(代表)

・ e-mail：josei@aed-zaidan.jp